

令和4年2月24日

令和4年2月 記者懇談会 冒頭挨拶

皆さんこんにちは。

本日も、ご多忙中にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の本部からの発表事項は、2点となります。

- 1点目が、海上保安官採用試験及び海上保安学校学生採用試験(特別)について
- 2点目が、航路標識協力団体の指定についてです。

1点目の

海上保安官採用試験については、
海上保安庁の幹部職員として、大学卒業者を対象とした採用試験です。

本試験は、令和2年度に新設され、今回で3年目となります。
採用後、2年間の研修を経て、様々なポストでの活躍が期待されるものです。

ちなみに、研修期間中には、舞鶴にある巡視船ふそうにて、約3か月に及ぶ乗船実習が行われています。

海上保安学校学生採用試験(特別)については、
本年10月に、当地舞鶴にある海上保安学校に入校する職員を採用するものです。

採用後、1年間の研修を経て、各分野でのエキスパートとして現場最前線での活躍が期待されるものです。

社会情勢の変化により、海上保安庁を目指される方が減少しております。このため、当庁の魅力を伝え、当庁を職業選択の一つとして加えられるよう、これまでの広報に加え、SNS なども活用しながら、周年を通して募集活動を実施しております。

より多くの方が採用試験にチャレンジされることを期待しております。

2点目の

航路標識協力団体の指定については、

新たに、航路標識の維持管理等の活動を自発的に行う民間団体等を、航路標識協力団体として指定し、その活動を支援するものです。

今回は、出雲日御碕灯台で活動する、公益社団法人 燈光会と、日御碕を美しくする会の2団体が指定されました。

両団体の活動を支援していくとともに、今後、ますます出雲日御碕灯台には多くの方が訪れることが期待できますので、灯台に訪れた方への情報発信も併せて強化していくこととしています。

私からは以上となります。